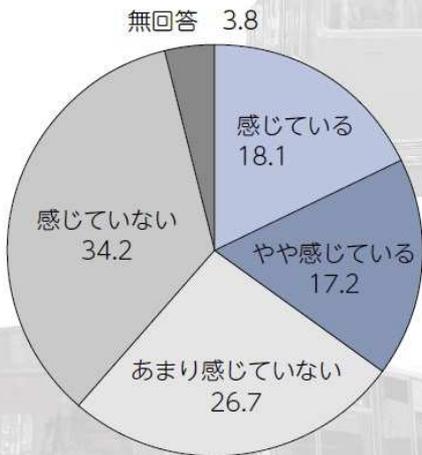


公共交通に関するアンケート

安全安心課 ☎66•1156

公共交通について不便を感じていますか？



※グラフ・表の数字の単位は%

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査
 調査期間…平成25年9月9日～10月11日
 対象…蒲郡市在住の満16歳以上の方
 回収数…2千360人(39.3%)
 6千人

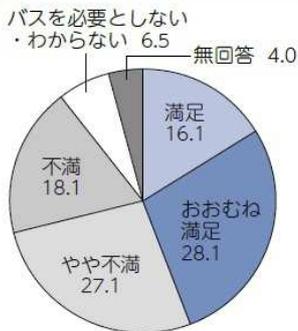
蒲郡市では、バスや鉄道などの公共交通について検討する組織として、「蒲郡市地域公共交通会議」を立ち上げ、「蒲郡市地域公共交通総合連携計画」を策定するための調査を実施しています。その中で市民の皆さんにお聞きしたアンケート調査について、その主な結果をお知らせします。なお、詳しい内容は、市ホームページで閲覧できます。

バスを使う人で「不満」「やや不満」と答えた人の理由

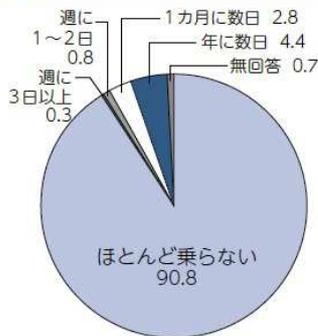
乗りたい時間に運行していない	65.6
目的地に直接いけない	35.6
自宅から停留所までが遠い	25.6
目的地まで時間がかかる	21.1
運賃が高い	18.9
時間が読めない	12.2

(3つ選択)

バスを使う人の満足度は？



バスを使いますか？



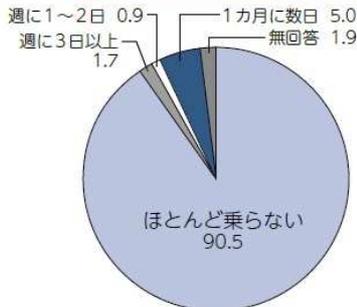
バス利用について

名鉄の利用促進についてどう思いますか？

廃線の危機にあることをもっとPRすべき	33.1
利用が拡大しないなら代替交通手段を考えるべき	30.5
もっと利用促進を図るべき	28.8
廃線の影響を地域住民が知るべき	28.4
生活に必要なので積極的に協力したい	16.1
廃線にならないよう税金投入を継続すべき	8.6

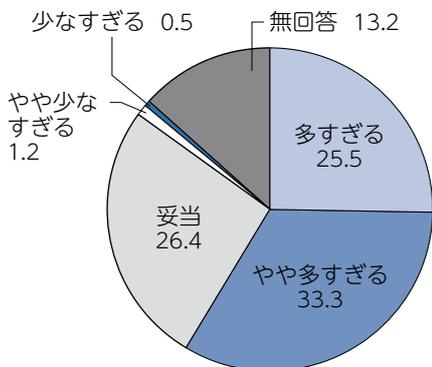
(複数回答可)

名鉄を使いますか？



名鉄西尾・蒲郡線の利用について

現在、公共交通維持のために年間約1億1,400万円かかっていることについてどう思いますか？



[内訳]

名鉄電車	9,900万円 (うち3,300万円愛知県負担)
路線バス	3,500万円
タクシーチケット	1,300万円

○公共交通の意義
自由に車に乗ることができ、好きなところへ移動できると公共交通は必要ないと思われるかもしれませんが、しかし、年をとって車に乗れなくなったとき、公共交通が無いとどうなってしまうでしょうか。将来のまちの姿を考える上で公共交通は必要となります。

交通空白地域への対応はどうしたらいいと思いますか？

タクシーチケットを交通空白地域に手厚く配布する	23.5
住民がボランティア運転手となり送迎する	21.0
民間バスに交通空白地域がなくなるよう路線を作る	18.7
市がバスや予約型タクシーを走らせる	17.9
空白地域住民にたいしてタクシーチケットの年齢制限をなくす	15.8
民間の事業者が対応しないところだから、交通空白地域でもやむを得ない	13.9
家族等が送迎を行えばいいので、特に対応する必要はない	11.7

(複数回答可)

公共交通の優先すべき目的は？

通学	54.8
高齢者・身体障害者	51.4
通院	50.3
通勤	26.5
駅の利用	20.6
公共施設	12.6
買い物	10.9
その他	17.2

(3つ選択)

地域公共交通について語る会を開催しました

開催日

10月6日(日)、12日(土)、19日(土)

開催地区 市内7中学校区

参加人数 全会場あわせて80人



○バスに対する意見

- ・大型のバスなのに利用者がほとんどいない。小型のバスで巡回してほしい。
- ・単なる移動手段だけでなく、「健康長寿」「コミュニケーション」の場に使いたい。
- ・将来的には利用したいが、今は自家用車に乗ることができるので使わない。

○名鉄に対する意見

- ・形原、西浦では、学生の通学や通勤のため不可欠である。
- ・地域によって利用頻度が違うため、関心に格差があるのではないか。

○その他の意見

- ・地域の企業や、診療所に対して協賛金を募って、停留所設置・名称変更をしてもらってはどうか。